



## 牛久市Oさん一家

05



## 一軒家のリフォーム

Ushiku City

子どもと共に広々とした家で暮らしたいと一軒家を探し始めたOさん（30代・主婦）一家。「遊び心」がくすぐられる物件を探し、出会ったのは築27年の輸入住宅の物件だった。JR常磐線牛久駅に近く、レンガの外観やウッドデッキのある広い庭に「一目惚れ」し、購入を決心。2022年11月に引っ越した。広い玄関に足を踏み入れるとまず目に入るのは、レンガ柄の壁と吊り下げ看板のような時計。レンガ柄の壁紙はリビングまで続いており、外国のストリートを連想させる。家族の遊び心が詰まった家へのこだわりや空き家購入までの経緯を聞いた。

## Q. 空き家の購入に関心を持つようになったのはなぜですか？

現在6歳になる子どもが生まれた時にいつかマイホームで暮らしたいと考えるようになり、2人目の誕生をきっかけに戸建てへの引っ越しの検討を本格化させました。また、引っ越す前に暮らしていた柏市（千葉県）のマンションでは、駐車場から自宅までが遠く、買い物から帰った際に子どもと荷物を同時に移動することが大変だったことも大きな理由です。

実際に探し始めると好みの新築物件では予算を超えることが分かりました。しかし「広くて面白みがある家でないと生活が楽しくない」と考えていたので、

無難な建売住宅が気が進みませんでした。そこで中古物件も視野に入れて探すことにしました。





### Q.どのように物件を探されましたか？

物件探しは主にインターネットで行い、大手不動産業者のサイトを利用しました。この物件が空き家バンクに登録されている物件でもあったことは後から知りました。

牛久市への移住を考えたのは、私が牛久出身だったからです。牛久には両親もいますし、よく知った土地だったので安心感もありました。また、夫は都内の会社に勤務しており、都内へ通えることも条件の一つでした。そこで、JR常磐線やつくばエクスプレス線沿い駅近くに引っ越そうと考えました。このほか、災害時のリスクにも注意しました。ハザードマップを見たり、近くに大きな川がないか確認したりしました。



### Q.購入の決め手は何でしたか？

かわいくて遊び心のある家に住みたいと常々考えていました。特にディズニーの世界観が好きで、カルフォルニア風のミッキーマウスの家やレンガが印象的な牛久シャトー（牛久市）のような雰囲気が良いなと考えていました。当時は「Pinterest」を使って好きな雰囲気の家を探し、夢を膨らませていました。

初めてこの物件に来た際、レンガの外観を見た瞬間に「ここに住みたい」と思いました。予算面で想定よりも安かったことに加え、屋内や庭が広がったこと、かわいと感じたことが大きな決め手でした。また、JR常磐線の牛久駅が近く、所要時間が徒歩15分、自転車5分だったのも良かったです。



### Q.想定外だったことはありますか？

輸入住宅ならではの風呂の様式に難ありと感じています。お風呂とトイレが一部屋にあるタイプでシャワーカーテンで区切られています。それまでのアパートのように子どもと一緒に広々とするのが難しくなりました。ただ、物件の購入費が想定よりも安かったため、ゆくゆくはリノベーションをしても良いかなと考えています。

### Q.どのようなリフォームをしましたか？

この物件を紹介してくれた不動産業者がリフォーム業もやっていたので、主に屋根と窓枠、壁紙のリフォームを頼みました。ウッドデッキとバルコニーは、購入する前に所有者の方がリフォームしてくれていました。

2階には購入前から絨毯が引いてありました。8年ほど空き家だったので汚れていましたが、クリーニングして今も使っています。子どもが転んだ時などは安全で良いと思っています。



また、できる範囲でDIYはやろうと思っています。キッチンの近くの壁紙は、子どもがお絵描きできる黒板にもなる壁紙に変えました。特にクリスマスなどの記念日にはイラストや文字を描いて装飾しています。今後は玄関タイルを交換したいと考えています。

Q. 行政のサービスはどのようにご利用されましたか？

家を購入すると所得税控除を受けられるのですが、仕組みを理解するのに苦労しました。当時は経験者のブログが理解の助けになりました。このほかの補助金も調べたのですが、見つける糸口が少ないように感じました。私はInstagramを活用し、家を建てている人や中古物件を購入した人が発信している情報を集めました。

引っ越しの手続きなどやるべきことが多く、補助金を調べる作業は後回しになっていたという反省点もあります。

Q. 子育て世帯として良かったことはありますか？

マンションに住んでいた時と比べ、子どもが走り回って騒いでも過剰に気にしなくてよいので、のびのびできています。庭でバーベキューやプールもできるようになり、人を呼べるようになったのも嬉しいです。小学校は自宅かた徒歩約10分の場所にあるので安心して送り出しています。

Q. 地域との交流について教えてください。

ご近所さんとは「お互い様」の気持ちで助け合っています。ウッドデッキで食事していると、ご近所さんが声をかけてくださって立ち話が始まることもあります。また、子どもが通う幼稚園のママ友と交流することで、コミュニティを知ったり、地域の情報を手に入れたりすることができました。

地域には、移り住んできた方々もポツポツと見受けられます。昔から住んでいる方も新しく住み始めた方もいて、居心地が良いと感じています。



レンガ造りの素敵なおうちでお子さんと笑顔あふれる毎日を過ごしているOさん。  
こちらにも温かい気持ちになれるひとときをありがとうございました！